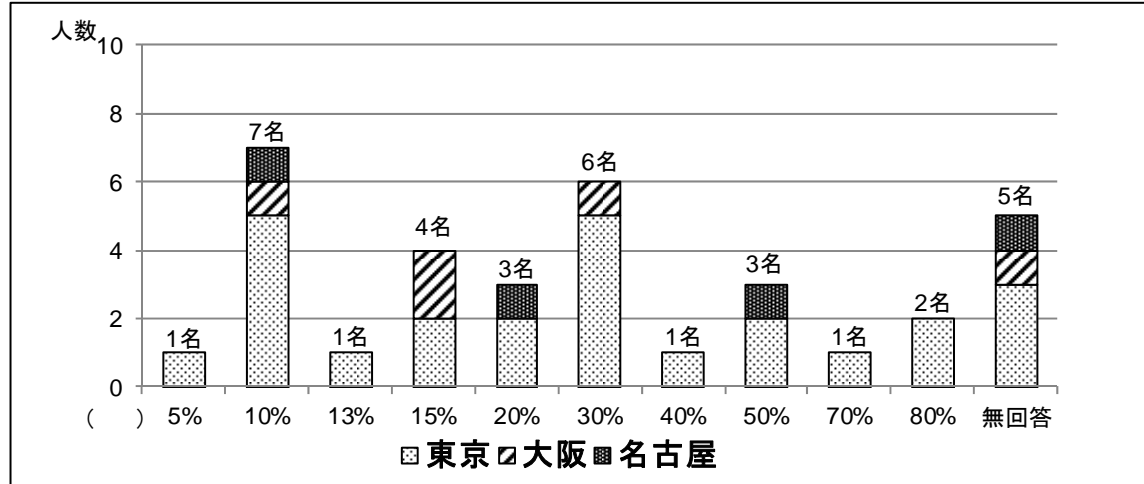


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

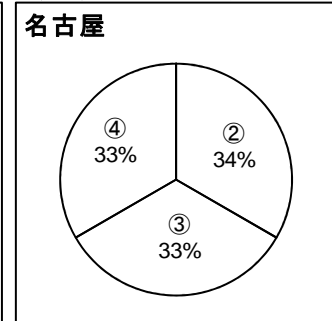
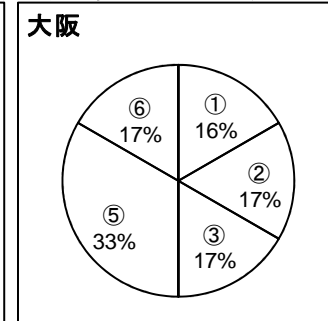
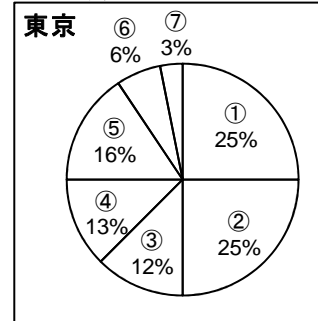
Q1. 平均的な年金基金にとって、流動性の低い資産の組入れに上限を設けるとしたら、総資産の何パーセントくらいが適当だと、お考えでしょうか。()内に数値をご記入ください。

()%	東京	大阪	名古屋	合計
① 5%	1名	0名	0名	1
② 10%	5名	1名	1名	7
③ 13%	1名	0名	0名	1
④ 15%	2名	2名	0名	4
⑤ 20%	2名	0名	1名	3
⑥ 30%	5名	1名	0名	6
⑦ 40%	1名	0名	0名	1
⑧ 50%	2名	0名	1名	3
⑨ 70%	1名	0名	0名	1
⑩ 80%	2名	0名	0名	2
⑪ 無回答	3名	1名	1名	5
	25	5	4	34



Q2. もしも、流動性の低い資産を投資対象として積極的に検討するとしたら、その魅力は、どのような点に、見出されるのでしょうか。一番近いものを、一つだけ、お選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① ユニークな投資機会にアクセスできる	8	1	0	9
② 相対的に、流動性の高い資産に比べて、割安である	8	1	2	11
③ 時価評価による影響が小さい	4	1	2	7
④ 債券や株式との相関が低い	4	0	2	6
⑤ 運用者による付加価値(バリューアップ)を期待できる	5	2	0	7
⑥ その他	2	1	0	3
⑦ 無回答	1	0	0	1
合計	32	6	6	44

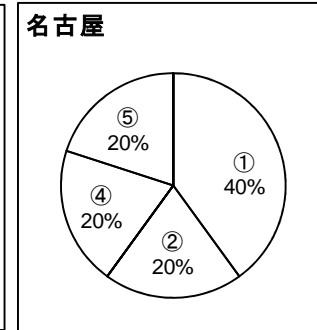
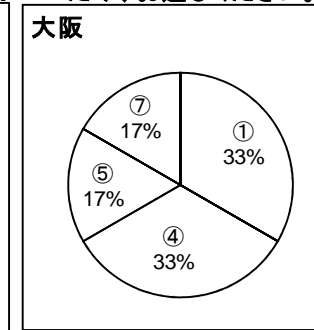
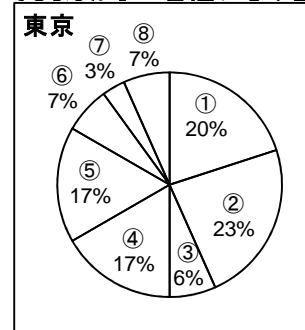


【重複選択】

・各1名：①⑤、①②⑤、④⑤、③⑥、①⑥、②③④ ・2名：③④

Q3. 逆に、流動性の低い資産は投資対象として積極的に検討し難いと思われる場合、その主な難点は何でしょうか。一番近いものを、一つだけ、お選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 不測のキャッシュフローに備えた売却可能性が小さい	6	2	2	10
② 資産全体のリスク管理の観点で、売却によるリスク調整が困難となる	7	0	1	8
③ 時価評価がなされないので、資産の適切な管理ができない	2	0	0	2
④ 運用者の技術に依存する度合いが大きすぎる	5	2	1	8
⑤ 成果が出るまでの時間が長すぎる	5	1	1	7
⑥ わかりにくい	2	0	0	2
⑦ その他	1	1	0	2
⑧ 無回答	2	0	0	2
合計	30	6	5	41



【重複選択】

・各1名：①④⑤、②④、②⑤、①⑦ ・2名：①②